

Q1

あなたが消防士を目指したきっかけを教えてください

A1

高校卒業後の進路を考え、学校説明会に参加した際、学校に置いてあった高規格救急車に一目惚れし、この救急車に乗ってする仕事ってどんな職種だろうと考えたことがきっかけです
そのため、専門学校入学当初は、消防士が救急車を運用していることは知らず、卒業するまでの間に、どのような仕事をしているのかを知り、消防士になることを目指すようになりました

Q2

採用前後でイメージのギャップ等ありましたか？

A2

私が想像していた消防のイメージは、災害がない時は、訓練や体力作りばかりしていると思っていましたが、災害や救急に伴う活動報告書の作成、火災予防に伴う点検結果書類の確認作業、車両や資器材などの購入計画など、意外と事務仕事が多い事にギャップを感じました

Q3

仕事のやりがいを感じるのはどういう時ですか？

A3

どの業務も、住民の安全安心に直接関わった時は、やりがいを感じます
例えば、通報者が慌てていて、住所が言えない・事故の状況と言えない時などに、こちらからいくつか質問を投げかけると、通報者が冷静になり、必要な情報を早く収集でき、1分でも早い出動指令に繋がった時にやりがいを感じます
また、指令員と活動隊員との連携がスムーズに取れたときなどにもやりがいを感じます

Q4

消防士を目指す皆さんへメッセージをお願いします

A4

消防士は、消火活動や人命救助、救急業務だけではなく
予防業務や指令業務など、さまざまな業務があります
皆さんが消防士になったら、多くの業務を経験し自分の目指す消防士になってください